

フェーズ1 基盤づくり

フェーズ2 検討・開発

フェーズ3 連携・接続の実施

フェーズ4 連携接続の充実

フェーズ5 連携・接続サイクル の定着

- 小学校区で連携・接続する幼児教育施設・学校の決定
- 幼小接続担当者の決定
- 連携・接続窓口の明確化
- 1年生の情報共有（入学前・入学後）
- 行事予定などの配布物の交流

- 職員間の話し合い、職員同士の交流の場の設定
- 地域やこどもの実態を把握

- 各校区で話し合い、つながりを意識した架け橋期の「目指すこどもの姿」や「育みたい資質・能力」の設定と共有
- 幼小の教職員が気軽に話し合える機会の設定と醸成
- 地域や保護者の意向を踏まえためざすこどもの姿や具現化に向けた取組内容の話し合い

- 実施状況の把握と支援
- 「目指すこどもの姿」の具現化への取組の振り返り、成果と課題の把握
- 四者（幼児教育施設・学校・保護者・地域）で目指すこどもの姿を共有し、協働した地域ぐるみの教育の推進

- 架け橋プログラムの改善・充実のための話し合いの定着・発展
- 幼小接続が持続的、発展的な取組となるための組織体制の構築

- 幼児教育施設・小学校での活動の共有とそれぞれの行事への教員・保育者の参加
- 小学校と共有した5歳児の年間指導計画に基づく保育・教育の実施・実践
- 幼児教育施設と共有したスタートカリキュラムに基づく教育の実施・実践

- 所属施設・所属校における架け橋期の重要性の理解と参画（所属施設・校内研修）
- 合同研修会開催（市開催の研修も含む）
- 幼児期の育ちや学びのつながりを意識したスタートカリキュラムの策定・実施
- 小学校生活を意識した5歳児の年間指導計画の策定・実施

- 「目指すこどもの姿」「育みたい資質・能力」を基にした「幼児教育施設で展開される活動」や「小学校の生活科を中心とした各教科などの単元構成など」の作成、実施
- 実施内容の足跡としての整理
- 校区における5歳児の年間指導計画とスタートカリキュラムの協議と公開

- 保育・教育内容の理解を深める合同研修会開催
- 公開保育・公開授業における事後研修会の充実
- 小学校との接続を意識した保育実践と幼児期の育ちや学びを意識した授業実践
- 次年度のカリキュラムに生かすための、取組の蓄積と検討

- 保育・教育内容の理解を深める合同研修会の定着
- こどもが主体的に学ぶ（遊ぶ）姿が見られる「主体的・対話的で深い学び」のある保育・授業への改善・実施
- 取組の足跡としての架け橋期のカリキュラムの作成、見直し、改善

- 幼小のこどもの交流活動（学年は不問）の実施
- 幼児教育施設、小学校の行事への児童・幼児の参観・参加

- 5歳児と1年生の交流の実施
- 小学校区の幼児教育施設同士の交流の実施

- 幼小それぞれのねらいを明確にしたお互いに成長できる交流を実施
- 事前のねらいを確認する打合せと事後の振り返りをする合同協議の実施

- こどもの主体性が発揮できる交流に向けての工夫

- こどもの自発的な行動が生まれる交流の在り方の工夫（環境づくりなど）

【フェーズ判断基準】 ○当該フェーズにおけるチェック項目の半数以上を満たした場合、そのフェーズをクリアしたものとします。
○各フェーズを行きつ戻りつ、時には2つのフェーズをまたがりながら発展していきます。

体制づくりと
情報共有

教育観・
教育方法の
相互理解

こども同士の
交流の促進